

成果指標				
成果指標	診療報酬収入			
指標設定の考え方	高度な技術を要する技工を外部に発注することにより、口腔内の状態を最良の状態に改善し、持続するための治療を実施することにより、今後の治療方針等の検討を行うが、その診療内容等が適切であるか関係機関の審査を得るため、診療報酬収入を指標として設定した。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	40283	35464	0	0
実績	36042	39164	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	患者さんが口に入れるものであるため、技工には細心の注意が必要であると考え。複雑な技工については、専門業者に依頼をすることとし、簡易なものについては、これまで同様、診療所職員が対応し、経費の節減に努める。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	今後も精度の高い歯科技工の外部委託は必要であるが、技工内容の把握に努め簡易な技工は診療所で対応して経費の節減に努める必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題